

令和3年度 全国乳児福祉協議会 事業報告

【重点方針】

1. 乳児院における養育の質の向上と支援の充実

- ・ 養育・支援の専門性、権利擁護意識の向上のための研修など人材育成の取り組み
- ・ 処遇改善に向けた取り組み

2. 「乳幼児総合支援センター」の具体化

- ・ 乳児院の体制整備や既存機能の強化、新たな機能の具備に向けた要望活動
- ・ 高機能化の要請に応えるための養育体制の検討

3. 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・ 乳児院における感染予防に向けた取り組み
- ・ 「ウィズコロナ」「アフターコロナ」における全乳協事業の進め方の検討

4. 第70回記念大会の開催と「全乳協20年小史」の発行

【総括】

令和3年度はコロナ禍が続くなかで、会議や研修会等のオンライン実施など感染状況に応じて進め方の見直しを図りながら、円滑な事業運営に努めた。

重点方針である「乳児院における養育の質の向上と支援の充実」を図るべく、第64回全国乳児院研修会においては「乳幼児のアドボカシー」等のプログラムを設け、職員の権利擁護意識の向上を図った。また、前年度動画視聴のみで実施した第10回上級職員セミナーおよび第3回医療・看護セミナーは、動画視聴とライブ配信を組み合わせる等、オンラインセミナーの質の向上に努めた。

「乳幼児総合支援センター」の具体化をめざして、令和3年度は社会保障審議会児童部会社会的養育専門委員会の議論に参画し、制度改正に向けた意見表明を行った結果、同報告書において、子育て短期支援事業の拡充のほか、産後の支援における乳児院の活用、一時保護について乳児院等への委託を適切に進めること等が盛り込まれた。また、全国調査から見えた実態をエビデンスとして予算要望等を行った結果、令和3年度より里親支援専門相談員、心理療法担当職員、家庭支援専門相談員加算の拡充に加えて、親子入所支援事業の創設や病虚弱等児童加算費の拡充が図られるなど、一定の成果を得ることができた。加えて、令和3年度補正予算において社会的養護従事者処遇改善事業が創設され、令和4年2月から収入を3%程度（月額9,000円）引き上げるための措置が行われた。

新型コロナウイルス感染症への対応として、国に対して計4回の緊急要望を実施した結果、令和3年度補正予算で施設が感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施していくために必要な経費の補助が行われた。また、令和3年度の暫定定員算定に際して、前年度における新型コロナウイルス感染症の影響を除外して計算できることとされた。

また、新型コロナウイルス感染拡大により1年延期をしていた第70回記念大会は『「乳幼児総合支援センター」の実現に向けて～ここ20年のあゆみをふりかえり新たなステージへ～』をテーマにライブ配信にて開催し、合計238名の参加を得た。加えて全乳協70周年記念誌として「全乳協ここ20年のあゆみ」（20年小史）を発行し、乳児院関係施設のみならず幅広く配布し、全乳協・乳児院の取り組みへの理解促進を図った。乳児院が社会から求められる役割を果たすために必要な取り組みを展開する。

【事業内容】

《諸会議の開催》

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンラインを基本として開催した。

※（ ）内は開催回数

1. 協議員総会（2回）

第1回 令和3年5月24日（月）

- ・ 令和2年度事業報告（案）について
- ・ 令和2年度決算について
- ・ 令和3・4年度役員選出について

第2回 令和4年3月10日（木）（文書審議）

- ・ 令和3年度補正予算（案）について
- ・ 令和4年度事業計画（案）について
- ・ 令和4年度予算（案）について

2. 常任協議員会（3回）

第1回 令和3年4月30日（金）

- ・ 行政説明：令和3年度家庭福祉対策関係事業の進め方について
- ・ 令和2年度全乳協事業報告（案）・決算について
- ・ 令和3年度協議員総会の進め方（案）について
- ・ 令和4年度国家予算要望（案）について

第2回 令和3年9月8日（水）

- ・ 行政説明：令和4年度家庭福祉対策関係概算要求について
- ・ 社会的養育専門委員会への対応について
- ・ 「乳幼児総合支援センター」の具現化について

第3回 令和4年2月9日（水）

- ・ 行政説明：令和4年度予算案（令和3年度第1次補正予算）、その他今後の関係施策の進め方について
- ・ 令和3年度全乳協事業進捗状況・補正予算（案）について
- ・ 令和4年度全乳協事業計画（案）・予算（案）について
- ・ 今後の協議員総会等の開催予定（案）について
- ・ 令和5年度全乳協国家予算要望について（検討）

3. 拡大正副会長会議（6回）

第1回 令和3年4月30日（金）

- ・ 常任協議員会・ブロック協議会会長会議（令和3年度第1回）の進め方について
- ・ 令和2年度全乳協事業報告（案）・決算について
- ・ 令和3年度協議員総会の進め方（案）について
- ・ 令和4年度国家予算要望（案）について

第2回 令和3年5月24日（月）

- ・ 令和3・4年度役員等体制について
- ・ 令和3・4年度常設委員会委員について
- ・ 令和3・4年度全社協等委員について
- ・ 社会的養育専門委員会への対応について

第3回 令和3年6月7日（月）

- ・ 社会的養育専門委員会への対応について
- ・ 家庭福祉課との意見交換（令和4年度国家予算要望等）の進め方について
- ・ 令和3年度事業の進め方について

第4回 令和3年10月6日（水）

- ・ 今後の全乳協事業について

第5回 令和3年12月16日（木）

- ・ 行政説明：社会的養護従事者の処遇改善について
- ・ 社会的養育専門委員会への対応について
- ・ 令和4年度全乳協事業実施方針について

第6回 令和4年2月8日（火）

- ・ 常任協議員会（令和3年度第3回）・ブロック協議会会長会議（令和3年度第4回）の進め方について
- ・ 令和3年度全乳協事業進捗状況・補正予算（案）について
- ・ 令和4年度全乳協事業計画（案）・予算（案）について
- ・ 今後の協議員総会等の開催予定（案）について
- ・ 令和5年度全乳協国家予算要望について（検討）

[その他、厚労省・家庭福祉課との意見交換（1回）]

令和3年6月23日（水）

- ・ 令和4年度全国乳児福祉協議会国家予算要望書について

4. ブロック協議会会長会議（4回）

第1回 令和3年4月30日（金）

- ・ 令和2年度ブロック活動助成金使途報告について
- ・ その他、各ブロックにおける今後の活動予定や共有すべき課題等について

第2回 令和3年9月8日（水）

- ・ 各ブロックからの報告・共有事項について

第3回 令和3年10月6日（水）

- ・ 今後の全乳協事業について

第4回 令和4年2月9日（水）

- ・ 各ブロックにおける今後の活動予定や共有すべき課題等について

5. 監査会（1回）

第1回 令和3年5月7日（金）

- ・ 令和2年度全国乳児福祉協議会事業報告（案）について
- ・ 令和2年度全国乳児福祉協議会決算について
- ・ 令和3年度協議員総会における監事監査報告について

6. 総務委員会（4回）

第1回 令和3年7月2日（金）

- ・ 令和3年度総務委員会事業の進め方について
- ・ 令和3年度全乳協「永年勤続者表彰」の決定について（審査委員会）
- ・ 令和3年度全乳協「嘱託医への感謝」の決定について（審査委員会）
- ・ 令和3年度全乳協会長感謝（団体・個人）について（検討）（審査委員会）
- ・ 第70回記念全国乳児院協議会（令和3年度・東京都）の企画について
- ・ 「全乳協20年小史」について
- ・ 乳児院の第三者評価基準の見直しについて

第2回 令和3年7月12日（月）

- ・ 第70回記念全国乳児院協議会（令和3年度・東京都）の企画について

- ・ 「全乳協 20 年小史」について
- ・ 乳児院の第三者評価基準の見直しについて

第 3 回 令和 3 年 8 月 24 日（火）

- ・ 令和 3 年度予算執行見込みについて
- ・ 「全乳協 20 年小史」について

第 4 回 令和 4 年 1 月 31 日（月）

- ・ 令和 3 年度全乳協事業進捗状況・補正予算（案）について
- ・ 令和 4 年度全乳協事業計画（案）・予算（案）について
- ・ 第 71 回全国乳児院協議会（令和 4 年度）の企画について

7. 制度対策研究委員会（3 回）

第 1 回 令和 3 年 6 月 16 日（水）

- ・ 令和 4 年度全乳協国家予算要望に関する厚労省・家庭福祉課との意見交換について
- ・ 乳児院をめぐる直近の情勢と対応について
- ・ 令和 3 年度制度対策研究委員会事業の進め方について
- ・ 令和 2 年度全国乳児院入所状況実態調査・充足状況調査について

第 2 回 令和 3 年 9 月 8 日（水）

- ・ 行政説明：令和 4 年度家庭福祉対策関係概算要求について
- ・ 社会的養育専門委員会への対応について
- ・ 「乳幼児総合支援センター」の具現化について

第 3 回 令和 4 年 1 月 17 日（月）

- ・ 令和 5 年度全乳協国家予算要望について
- ・ 令和 4 年度制度対策研究委員会事業の進め方について

8. 広報・研修委員会（4 回）

第 1 回 令和 3 年 6 月 29 日（火）

- ・ 令和 3 年度広報・研修委員会事業の進め方について
- ・ 第 64 回全国乳児院研修会（令和 3 年度・動画視聴）の運営等について
- ・ 「乳児保育」No.194（令和 3 年度第 1 号）の企画について
- ・ 第 10 回乳児院上級職員セミナーおよび第 3 回乳児院医療・看護セミナーの企画について

第2回 令和3年10月20日（水）

- ・ 第3回乳児院医療・看護セミナー（令和3年度）の企画について
- ・ 第10回乳児院上級職員セミナー（令和3年度）の企画について
- ・ 「乳児院養育指針」の改訂の進め方について
- ・ パンフレット「乳児院 赤ちゃんいのち輝いて」の更新について

第3回 令和3年12月22日（水）

- ・ 第3回乳児院医療・看護セミナーおよび第10回乳児院上級職員セミナーについて
- ・ 「乳児保育」No.195（令和3年度第2号）の企画について
- ・ 令和4年度広報・研修委員会事業の進め方について
- ・ 第65回全国乳児院研修会（令和4年度）の企画について

第4回 令和4年2月22日（火）

- ・ 第65回全国乳児院研修会（令和4年度）の企画について

《総務活動》

1. 乳児院における養育の質の向上と支援の充実に向けた振り返り

(1) 権利擁護意識の向上にむけた取り組みの強化

- 全乳協要覧に「乳児院 倫理綱領」、「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」等を掲載し、意識づけと周知に努めた。
- 第64回全国乳児院研修会において「乳幼児のアドボカシー」等のプログラムを設け、職員の権利擁護意識の向上を図った。
- 厚労省「被措置児童等虐待対応ガイドライン改定検討会」に大和副会長が参画し、ガイドライン見直しの協議に加わった。

(2) 養育・支援の振り返り体制等の強化（自己評価、第三者評価事業の活用による養育・支援の質の向上等）

- 全社協における社会的養護関係施設の第三者評価基準の見直し検討に柴崎副会長が参画し、令和4年度の基準見直しに向けて協議を行った。
- 全社協「福祉サービス第三者評価事業のあり方に関する検討会」に柴崎副会長が参画した。
- 厚労省「児童福祉施設等の感染防止対策・指導監査の在り方に関する研究会」からの意見照会を受け、令和3年9月に乳児院の立場からの意見書を提出した。

2. 全乳協 20 年小史の発行

- 第 70 回記念全国乳児院協議会記念誌として、令和 3 年 9 月に「全乳協ここ 20 年のあゆみ」(20 年小史)を発行し、全国の乳児院関係者ととも、全国保育士養成協議会および日本ソーシャルワーク教育学校連盟の会員校等に広く配布して、全乳協・乳児院の取り組みへの理解促進を図った。

3. 組織活動と連絡調整

(1) 「ウィズコロナ」「アフターコロナ」における全乳協事業の進め方の検討

- コロナ禍が続くなかで、「ウィズコロナ」における全乳協事業として、協議員総会等の会議や研修会等のオンライン実施など進め方の見直しを図った。
- 予算の補正について検討した。
- 令和 2 年度総会にて災害見舞金規則を改正し新型コロナウイルス感染症も災害の一つとして運用を開始している。令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症による被害を受けた施設に対して、計 7 施設に各 10 万円の災害見舞金により見舞の意を表した。

(2) 運営内規、諸規則の管理

- 運営内規、諸規則に基づき協議会運営を行った。

(3) ブロック協議会活動への助成、情報提供等協力

- 「ブロック協議会助成金規則」に基づき、令和 3 年 7 月、6 ブロックに対し計 1,655,000 円を助成した。
- ブロック協議会会長会議等により、各ブロック協議会との情報共有を図った。

(4) 乳児院における人材確保の取り組みの検討

- 厚労省・社会的養育専門委員会における子ども家庭福祉分野の資格・資質向上等の検討において、横川副会長が乳児院における人材確保等の必要性を提起した。

(5) 寄贈・寄付の調整・受け入れ等、企業等による社会貢献活動に対する協力

- 公益財団法人資生堂社会福祉事業財団が実施する資生堂児童福祉海外研修への乳児院職員の派遣調整を行った。(毎年継続)
- 日本ベビーフード協議会から全国の乳児院へのベビーフード寄贈の受け入れ調整を行った。(毎年継続)
- 株式会社明治から全国の乳児院への液体ミルク寄贈の受け入れ調整を行った。(毎年継続)
- 公益社団法人母子保健推進会議・P & G 株式会社から全国の乳児院へのオムツ寄贈の受け入れ調整を行った。(令和 2 年度に引き続き)

- 公益財団法人東京子ども図書館から全国の乳児院への保護者向けブックレットの配布調整を行った。

(6) 乳児院への各種助成事業への対応

- 株式会社ジェイ・ストームの寄付による「幼い子どものゆたかな育ち応援助成」（七五三のお祝い助成）の実施に協力し、107施設に計13,029,904円を助成、458人の乳児院入所児を支援した。

(7) 全乳協要覧の作成、配布

- 令和3年9月に会員施設および厚労省等関係機関に配布した。

(8) 全社協・退所児童等支援事業への参画

- 全国退所児童等支援事業連絡会に栗延総務委員長が参画し、事業の執行にかかる協力を行った。

4. 全国乳児院協議会の企画内容の検討と実施、参加促進

(1) 「第70回記念全国乳児院協議会」（記念大会）の開催

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ライブ配信により実施した。

期 日：令和3年10月6日（水）

参加者：238名 参加費：10,000円

プログラム概要：

- ・ 厚生労働大臣表彰（乳児院事業従事者）
- ・ 全国乳児福祉協議会会長表彰（永年勤続者）・感謝（嘱託医、団体・個人）
- ・ 特別講演『『ともに生きる豊かな地域社会』に向けた乳児院への期待』（全社協・清家会長）
- ・ 行政説明「社会的養護の現状及び関係施策について」
- ・ 基調報告「全乳協のここ20年のあゆみをふりかえり新たなステージへ」（全乳協・平田会長）
- ・ シンポジウム「乳幼児総合支援センターを具現化するために」（全乳協からは横川副会長、柴崎副会長が登壇）

(2) 「第71回全国乳児院協議会」（大会）の準備

会 場：香川県高松市

期 日：令和4年10月6日（木）～7日（金）

5. 令和3年度全乳協会長表彰（永年勤続者）・感謝（嘱託医等）の実施

- 第70回記念全国乳児院協議会（記念大会）において、乳児院職員71名への永年勤続者表彰を実施した。
- 同大会において、乳児院に長年勤められた嘱託医25名と、全国の乳児院への寄贈等で尽力いただいた計8団体・個人に対する感謝を実施した。

《制度対策研究活動》

1. 「乳幼児総合支援センター」の具体化

（1）「乳幼児総合支援センター」の具体化に向けた要望

- 「乳幼児総合支援センター」の実現に向けて、令和4年度全乳協国家予算要望書において重点要望を行ったほか、厚労省・社会的養育専門委員会での児童福祉法改正の検討において意見書を提出した。

（2）高機能化の要請に応えるための養育体制の検討

- 令和4年度全乳協国家予算要望書において、厚生労働大臣に対し、乳児院におけるケアニーズが非常に高い子どもの捉え方の見直しや、医療的ケア児等受入加算の加配内容について看護師の相当数配置等が可能な水準に見直すことを要望した。
- 令和3年度社会的養育専門委員会報告書において、施設の人員配置基準等についてケアニーズに応じた支援が適切になされるよう検討を開始する旨が盛り込まれた。本検討について、令和4年3月31日に開かれた厚労省と社会的養護関係3種別協会長の意見交換会に平田会長が出席し、令和4年度の検討に向けた進め方などを確認した。

2. 調査研究の実施、公表、活用促進

（1）「全国乳児院入所状況実態調査・充足状況調査」の実施

- 令和2年度の状況に関する調査について、近年の一時保護委託児童数の増加等を踏まえ調査票を見直し、令和3年8月に実施した。

※ 報告書は、5月中に会員施設および厚労省に提供する予定。

（2）その他必要に応じたデータ収集と関係調査への協力

- 乳児院における、いわゆる多機能化に関する事業の受託状況について、厚労省・社会的養育専門委員会における児童福祉法改正の検討に対応するため、令和3年6月に各ブロックを通じて会員施設に対する緊急調査を実施した。
- 厚労省「被措置児童等虐待対応ガイドライン検討会」（3回開催）に大和副会長が参画し協力した。

3. 政策・予算対策活動

(1) 令和4年度予算等要望の実施、翌年度予算要望の検討等

- 令和3年6月16日付で、厚生労働大臣に対し令和4年度全乳協国家予算要望を実施した。要望書は厚労省・家庭福祉課に提出し、6月23日に意見交換を行った。
- 令和4年度厚労省概算要求等については令和3年9月、同予算案等については令和4年2月の常任協議員会で説明を受け、意見交換を行った。
- 令和4年度予算要望の達成状況等を踏まえ、次年度予算要望の検討を行った。
- 全国児童養護施設協議会および全国母子生活支援施設協議会との社会的養護関係3種別協議会共同要望として、厚生労働大臣に対し、令和3年11月19日付で「社会的養護関係施設職員の処遇改善に係る緊急要望」を実施した。令和3年度第1次補正予算に盛り込まれた社会的養護従事者処遇改善事業は、全職員が対象となり(法人役員を兼務する施設長は除く)となり、要望が一定の成果を得た。

(2) 厚労省・社会保障審議会児童部会社会的養育専門委員会等への参画

- 児童福祉法改正に向けた検討のため、令和3年4月から進められている厚労省・社会的養育専門委員会(今年度は15回開催)に横川副会長が参画した。5月25日開催の第28回、7月16・30日開催の第31・32回、9月17日開催の第34回専門委員会において意見書を提出するとともに、各回において横川副会長が乳児院の立場から意見を述べ対応した。
- 自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」と超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」の総会・勉強会での社会的養護施策の検討に役員が出席した。(別紙一覧参照)

(3) 全社協・政策委員会、社会福祉施設協議会連絡会等への参画

- 全社協の各種委員会等に役員が参画し、社会福祉をめぐる諸課題について他種別協議会との協議を行った。

4. 新型コロナウイルス感染症への対応

- 令和4年度全乳協国家予算要望書において、乳児院における新型コロナウイルス感染症等対策の強化を要望した。
- 全国児童養護施設協議会および全国母子生活支援施設協議会との社会的養護関係3種別協議会共同要望として、厚生労働大臣に対し下記の要望を実施した。令和3年度の暫定定員算定については、令和2年度における新型コロナウイルス感染症の影響を除外して計算できる旨が今年度の保護単価の通知に盛り込まれ、要望が一定の成果を得た。
 - ・ 令和3年10月7日付「新型コロナ禍において入所児童等の命と生活を守り育むための緊急要望」
 - ・ 令和3年11月19日付「コロナ後を見据えた入所児童等の命と生活を守り育むための緊急要望」

- 全乳協が参画する全社協・社会福祉施設協議会連絡会より、厚生労働大臣等に対し下記の要望を実施した。
 - ・ 令和3年9月22日付「長期化するコロナ禍において国民生活を守り抜くための緊急要望」
 - ・ 令和3年11月19日付「コロナ後の福祉サービスを切り拓くための緊急要望」

《広報・研修活動》

1. 養育の質の向上等のための人材育成等の取り組みの強化

(1) 研修小冊子の普及による各地での研修実施の働きかけ

- 全乳協ホームページで公開している研修小冊子、同活用教材の普及を進めた。
- 第3回乳児院医療・看護セミナーにおいて、研修小冊子の「乳児院における病児ケアの対応チェックリスト」の解説を行った。

(2) 処遇改善に向けた社会的養護処遇改善加算への対応

- 第64回全国乳児院研修会、第10回乳児院上級職員セミナー等を新型コロナウイルス感染防止のためオンラインで実施するにあたり、社会的養護処遇改善加算の対象研修要件を踏まえプログラムの検討を行った。

2. 養育の質の向上等にむけた研修会の実施、および他団体研修事業への協力

(1) 「第64回全国乳児院研修会」の開催

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、動画配信により実施した。

動画配信期間：令和3年8月10日（火）～27日（金）

受講者：390名 受講料：8,000円

プログラム概要：

- ・ 基調報告「乳幼児総合支援センターをめざして」（全乳協・平田会長）
- ・ 講義「乳幼児のアドボカシー」
- ・ 講義「飲まない、食べない子どもへの対応のポイント」
- ・ 講義「親子関係のアセスメントと再統合支援」
- ・ 資生堂児童福祉海外研修報告

(2) 「第65回全国乳児院研修会」の準備

形式：オンライン

期日：令和4年7月頃

(3) 「第10回乳児院上級職員セミナー」の開催

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、動画配信およびライブ配信により実施した。

参加者：138名 受講料：5,000円

① 動画配信

期 間：令和4年2月8日（火）～18日（金）

プログラム概要：

- ・ 職員のメンタルヘルスとその対応のポイント
- ・ 上級職員に求められるチームアプローチ、スーパービジョン（全乳協・潮谷常任協議員）
- ・ 乳児院のアセスメントの専門性とは（全乳協・増沢常任協議員）
- ・ 乳児院の多機能化実践報告

② ライブ配信

日 時：令和4年3月1日（火）

プログラム概要：

- ・ 乳幼児総合支援センターの実現に向けて（全乳協・平田会長）
- ・ 上級職員に求められるチームアプローチ、スーパービジョン（全乳協・潮谷常任協議員）

(4) 「第3回乳児院医療・看護セミナー」の開催

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、動画配信およびライブ配信により実施した。

参加者：179名 受講料：5,000円

① 動画配信

期 間：令和4年2月8日（火）～18日（金）

プログラム概要：

- ・ 乳児院における病児ケアの基本
- ・ 医療的ケアを考える
- ・ 新型コロナとマスク

② ライブ配信

日 時：令和4年2月25日（金）

プログラム概要：

- ・ 各乳児院における医療・看護に関する取り組みについて

（講師はすべて全乳協・大和副会長）

(5) ファミリーソーシャルワーク研修会の共催

- 新型コロナウイルス感染防止のため、動画視聴によるオンラインで実施した。

動画配信期間：令和4年2月18日～3月10日

受講者：983名（うち乳児院受講者169名）

(6) 社会的養護を担う児童福祉施設長研修会の共催

- 新型コロナウイルス感染防止のため、動画視聴によるオンラインで実施した。
動画配信期間：令和3年12月8日～12月27日
受講者：562名（うち乳児院受講者81名）

(7) 「子どもの虹情報研修センター」研修事業への協力

- 杉村常任協議員が参画し、事業の企画・運営に協力するなど連携を図った。

(8) 「西日本こども研修センターあかし」研修事業への協力

- 栗延総務委員長が参画し、事業の企画・運営に協力するなど連携を図った。

3. その他、乳児院に関する広報・啓発活動

(1) 「乳児院養育指針」の改訂による普及と活用促進

- 360部を有償頒布した。なお、令和3年9月に500部の増刷を行った。
- 平成26年度に発行した現版について、乳児院の現状や、この間の乳児院を取り巻く情勢の変化等を踏まえた改訂内容の検討を進めた。なお改訂は、児童福祉法改正に向けた検討が今年度において進められており、その内容を踏まえる必要があることから、令和4年度に実施する予定とした。

(2) 機関誌「乳児保育」の作成と頒布普及（全施設対象／年2回／有償頒布あり）

- 令和3年12月にNo.194を発行。第70回記念全国乳児院協議会（記念大会）の誌上報告や、乳児院の多機能化実践報告などを取り上げた。
- 令和4年3月にNo.195を発行。全乳協70周年を機に実施した座談会や、第10回乳児院上級職員セミナー/第3回乳児院医療・看護セミナーの誌上報告などを取り上げた。

(3) 全乳協ホームページの管理運用

- 会員専用ページを活用し、会員施設等に向けた情報提供の充実を図った。

(4) 「全乳協ニュース」の発行（全施設対象／随時）

- 乳児院をめぐる情勢の動向や全乳協の対応・取り組みなどの情報を随時発信した。（今年度は現時点計11号を発行済）

(5) 「赤ちゃんいのち輝いて」の見直し

- 乳児院の役割や実態を説明するリーフレット「赤ちゃんいのち輝いて」について、直近の全乳協実態調査結果の数値を更新し、令和3年11月に改訂した。

<全国乳児院協議会・全国乳児院研修会 開催地一覧>

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
協議会 (大会)	第 63 回 東海・北陸 (愛知県) * 永年勤続者 表彰	第 64 回 中国・四国 (高知県) * 永年勤続者 表彰	第 65 回 関東・甲信越静 (新潟県) * 大臣表彰 * 永年勤続者 表彰	第 66 回 九州 (宮崎県) * 永年勤続者 表彰	第 67 回 東北・北海道 (北海道) * 永年勤続者 表彰	第 68 回 東海・北陸 (三重県) * 永年勤続者 表彰
研修会	第 57 回 関東・甲信越静 (茨城県)	第 58 回 東海・北陸 (石川県)	第 59 回 東北・北海道 (岩手県)	第 60 回 中国・四国 (鳥取県)	第 61 回 近畿 (和歌山県)	第 62 回 関東・甲信越静 (山梨県)
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
協議会 (大会)	第 69 回 近畿 (京都府) * 永年勤続者 表彰	(新型コロナ ウイルス感染 症をめぐる状 況から次年度 に延期)	第 70 回 関東・甲信越静 (東京都) * 大臣表彰 * 永年勤続者 表彰	第 71 回 中国・四国 (香川県) * 永年勤続者 表彰	第 72 回 九州 (長崎県) * 永年勤続者 表彰	第 73 回 東北・北海道 (秋田県) * 永年勤続者 表彰
研修会	第 63 回 九州 (沖縄県)		第 64 回 (オンライン)	第 65 回 (オンライン)	第 66 回 東海・北陸 (岐阜県)	第 67 回 (調整中)

<自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」・超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」
合同勉強会への全乳協の対応一覧（令和 3 年度）>

	開催日	内 容	全乳協出席者
1	4 月 14 日	・厚労省より説明 ・社会的養育における地域在宅支援の充実～在宅措置制度 の創設～に向けて	柴崎副会長
2	4 月 20 日	・家庭養護と虐待予防の推進に向けた制度改革の提言	平田会長
3	4 月 27 日	・子どもの在宅支援措置制度への提言	柴崎副会長
4	5 月 21 日	・児童虐待対応におけるデータの利活用について	柴崎副会長
5	6 月 7 日	・児相職員による最近発生した事件について、再発防止策 の説明 ・児相の設置基準パブリックコメント等近況の報告	松尾委員長
6	9 月 30 日	・役員人事について ・5 月の合同議連の提言に対する進捗状況の報告	(事務局傍聴※)
7	11 月 12 日	・児童養護に関する厚労省の専門委員会論議の動向 ・役員人事について	(事務局傍聴※)
8	11 月 26 日	・厚労省の専門委員会の報告（厚生労働省） ・ヒアリング	(事務局傍聴※)

※事務局傍聴の 3 回は、オンライン参加が設定されなかったことから事務局対応となったもの

《児童福祉施設関係種別協議会との協働事業》

1. 児童福祉の課題や諸制度への対応
 - ・ 児童福祉関係種別協議会会長会議への参画と協働活動
 - ・ 必要に応じた合同会議の開催等
2. 社会的養護を支える施設長、職員のための研修
 - ・ 社会的養護を担う児童福祉施設長研修会の共催
 - ・ ファミリーソーシャルワーク研修会の共催

《全国社会福祉協議会との連携》

1. 全社協／理事会（総務部）
2. 全社協／政策委員会（政策企画部）
3. 全社協／福祉サービスの質の向上推進委員会（政策企画部）
4. 全社協／福祉サービス第三者評価事業のあり方に関する検討会（政策企画部）
5. 全社協／社会福祉施設協議会連絡会・同調査研究部会（法人振興部）
6. 全社協／社会的養護を担う児童福祉施設長研修会（児童福祉部）
7. 全社協／ファミリーソーシャルワーク研修会企画委員会（中央福祉学院）
8. 全社協／福祉施設長専門講座運営委員会（中央福祉学院）
9. 全社協／国際社会福祉基金委員会（国際部）
10. 全社協／退所児童等支援事業（児童福祉部）

《他団体との連携》

1. 健やか親子 21 推進協議会
2. 社会福祉法人福利厚生センター
3. 社会福祉法人横浜博萌会／子どもの虹情報研修センター
4. 一般財団法人あかしこども財団／西日本こども研修センターあかし
5. 公益財団法人全国里親会
6. 特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク

《厚労省の審議会等》

1. 社会保障審議会児童部会社会的養育専門委員会